



谷本 勝俊 議員

**若者の出会いの場を!!
「婚活支援」について**

問

結婚はしたいが、出会いがなく、悩む男女が多い。未婚・晩婚化が進み、社会現象となっており、伊予市が婚活の支援をすることにより、少子化に歯止めをかけられないか。
①えひめ結婚支援センターの啓発活動は。
②ウエルピア伊予での出会いの企画・立案や参画の考えは。

答 篠崎副市長

①7月号の広報「いよし」に掲載したところであるが、今後も応援企業や協賛企業、ボランティア推進員の募集も含めて、継続的に掲載していきたい。また、支援センターのホームページを市の公式ホームページのリンク先として登録し、周知・啓発に協力して

いきたい。
②ウエルピア伊予の結婚支援イベントは、第1回が去る3月22日に男女18名ずつ、計36名参加のもと開催され、7組のカップルが誕生したと聞いている。

また、今後の開催については、年齢制限の緩和もあり、参加希望は多いようである。

しかし、結婚は個人のプライベートに深く関わることや個人の自由な意思に基づき行えるものであり、行政が積極的に関わることは、慎重に対応する必要がある。

ウエルピア伊予に対しては、当施設が本市の都市総合文化施設として、市民また来館者のニーズに沿った適切な管理運営がなされるよう、指定管理者との良好なパートナーシップのもと、情報交換・意見交換に努めていきたい。

唐川びわの全国発信を目指して

問

このたび伊予商工会議所が「地域資源∞プロジェクト事業」に採択され、伊予市特産の唐川びわや、びわ葉茶を活用して、特産品づくりの開発



びわ葉茶加工場

に着手した。全国展開を目指すための支援はできないか。

- ①事業の概要は。
- ②事業に対する本市の対応は。
- ③事業の展望について問う。

答 中村市長

①地域資源∞プロジェクト事業は、平成18年度に新たに創設され、商工会・商工会議所が地域の業者と一体となって地域資源を使った特産品や全国市場に向けた販路・観光開拓といった取組に対し、幅広い支援を行う事業である。事業実施主体の伊予商工会議所が今年2月に国へ事業採択申請をし、この4月に事業採択を受け事業費900万円、全額国の補助で単年度事業である。

答 中村市長

①本市を除く19市町のうち、全団員に活動服を貸与しているのは、17市町である。そのうち、12市町がハッピーもあわせて貸与している状況にある。
②既に消防団において、活動服貸与について団員の意見の集約に取り組んでいる。この結果を踏まえ、また財政的な面も考慮しながら検討していきたい。

伊予市消防団員活動服の貸与について問う

問

- ①活動服に関する県下の状況は。
- ②全団員に貸与を要望する。



消防団活動服

その他の質問事項

・男女共同参画について
・聴覚障害者用火災報知機の啓発について